

Society 5.0実現を牽引する未来思考型産業人材育成 プロジェクト

～カーテクノロジーミュージアムによるSTEAM教育の実践と普通科への普及～

静岡県

飛龍高等学校

現状・課題

- ・本県の基幹産業である自動車産業は、2050年のカーボンニュートラル達成や2035年までに軽自動車を含む乗用車の新車販売の全てを電動車とする国目標への対応など、**100年に1度とも言われる大きな変革期**を迎えている。
- ・自動車産業の持続的な発展に向けて、**新たな技術の変化に即応した次世代自動車の開発・生産・メンテナンス人材の育成が急務**である。

- ・EV化に伴い、自動車の機能や製造方法が大きく変化しているにも関わらず、学生が学ぶ内容は**ガソリンエンジン中心のカリキュラム**となっている。
- ・近年、**中学生の志願状況が減少傾向**にある。
- ・企業から寄せられる**多くの求人に応えきれていない**。

実施内容

- ①事業全体のコーディネート
- ・事業運営委員会の運営、事業全体の進捗管理
 - ・**自動車産業と高校の連携体制構築支援**
- ②県の次世代自動車施策との連携
- ・**次世代自動車センター浜松に展示されているEV部品を学習**
 - ・デジタルものづくりセンターの最新設備を体験
 - ・自動運転実証実験の自動運転車両への試乗 等

- ①EV等の次世代自動車の先端技術を学習できるカリキュラム開発・実践（スズキ(株)の工場や研究施設での実習等）
- ②産学連携コーディネータ（スズキ(株)元開発管理職）の配置、実習場の展示物拡充、留学生受入れ、海外インターンシップ体制の整備
- ③県内企業や他校と連携した**ワークショップ・交流会**の開催
- ④就職希望者が多い**普通科へSTEAM系列を編成** ほか

目的

静岡県の基幹産業である自動車産業が、EV（電気自動車）化やデジタル化、脱炭素など100年に一度の大変革期を迎える中、**飛龍高等学校とスズキ(株)などの県内企業、県が連携し、新たな技術の変化に即応した次世代自動車の開発・生産・メンテナンス人材の育成**に取り組む。

指標①	課題解決型思考に対する好意的回答の増加、自動車関係の上級学校(大学等)への進学者数の増加 等
指標②	国家三級整備士・危険物取扱者試験等の合格率の向上、校外研修（企業の施設を利用した校外研修を含む）参加者の満足度の向上、インターンシップ（国内外）参加者の増加 等

Society 5.0実現を牽引する未来思考型産業人材育成 プロジェクト
～カーテクノロジーミュージアムによるSTEAM教育の実践と普通科への普及～

実施体制

次世代自動車に対応した最先端の産業人材育成

（公設試・支援プラットフォーム）

デジタルものづくりセンター
企業脱炭素化支援センター



- ・金属3Dプリンタ等製品開発の最新設備を体験
- ・CO2の見える化や省エネ手法の学習 等

（専門機関）

神奈川工科大学
専門大学校

自動車実習への協力
職業人材育成に関する助言



自動運転実証実験

（管理機関）

静岡県

事業全体のコーディネート
自動車産業と高校の連携体制構築
既存事業との連携
県内高校等への横展開

（中核的支援機関 ※静岡県・浜松市が共同設置）

次世代自動車センター浜松
（分解部品ベンチマークルーム）

E V 分解部品
展示を見学



（拠点校）

飛龍高等学校



自動車工業科
Automotive Industrial Department

産学連携コーディネータの配置
実習場のカーテクノロジーミュージアム化
普通科へSTEAM系列を編成
近未来車まで学べるカリキュラム開発
成果報告会の開催 等

（産業界）

スズキ(株)

講師派遣及び実習の受け入れ
工場や研究施設等の学び場の提供